



深草徹の“ここがポイント”

慰安婦問題は対話の継続で解決を

深草徹



韓国ソウル中央地方法院判決は1月8日、日本国に対し、元従軍慰安婦に損害賠償を命ずる判決を言い渡しました。

元従軍慰安婦たちは、かつて日本の裁判所に訴え出たのですが、ことごとく斥けられました。日本の裁判所は、日韓請求権協定で韓国が請求権を放棄したことにより、個人の請求権は失われませんが、裁判上は請求できないことになった、と判断したのです。

元従軍慰安婦たちは、最後の望みを託して、祖国の裁判所に同じ訴えを提起しなおしたのですが、日本政府は、これを無視し続けました。韓国の裁判所で日本国を裁くことはできない、という考え方——これを「主権免除」といいます——に固執したのです。

日本政府の対応は、傲慢だったと言うべきでしょう。

訴訟も、争いではありますが、ある面では対話の場でもあります。それを無視するのは、対話の拒否、対話すべき相手の否定です。

主権免除は国際法上、絶対的なものではなく、主権免除を認めなかった今回の判決は決して異例とは言えません。

慰安婦問題は、朝鮮半島に対する植民地支配とアジア侵略戦争に伴う非人道的行為によるもの。日本政府は、過去と現在との尽きることのない対話という歴史の実践と、韓国政府との対話の継続とを通じて、両国の深い裂け目を修復するほかはないでしょう。

和解、それは日本の裁判所も暗に勧めていることです。

(九条の会. ひがしなだ筆頭代表世話人、深草憲法問題研究所主宰)

核兵器禁止条約発効に感激！！ 生きている間に核のない地球を

千葉孝子

1945年8月6日ヒロシマ、9日ナガサキ。それから76年、2021年1月22日に核兵器禁止条約が発効しました。

76年間、ヒバクシャとして生き続け、死ぬまでヒバクシャ。そして、その命を受け継いでいくヒバク2世、3世・・・。

「私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と、世界中に訴え続けてきた先輩たちと、それを支え続けて下さった本当に多くの皆様のおかげで、今日があるということを、改めて感謝申し上げます。



私自身も2010年には、NPT再検討会議要請行動で、ニューヨークでの証言活動、2015年にはワシントン周辺での証言活動を行うことが出来ました。

昨年のニューヨーク行きは、コロナ騒動で中止になってしまったものの、まさか今年の1月に、核兵器禁止条約が実現するなんて！！

生きている間に、何としても核兵器のない地球を実現させたあ〜い！！

(芦屋被爆者の会会長)

新年に思う



2021年、牛のように力強く 早期に犯罪被害者の救済を

藤本 護

国連が犯罪被害者の人権を宣言、国による救済を勧告して35年、欧州先進諸国と異なり、日本の被害者支援はいまだ「権利でなく恩恵」の域を出ていません。故意によって殺され、傷つけられた被害者(遺家族)は、経済的困難と痛苦の生活を強いられています。

2005年、犯罪被害者等基本法制定と「全国犯罪被害者の会(あすの会)」の努力で刑事司法の改革は進みましたが、経済的支援は「小泉構造改革」のもと、期待を裏切りました。

2008年10月、犯罪被害補償を求める会(略称:手をつなぐ会)を、6人の被害者で立ち上げ、今年で13年になります。「あすの会」が2018年に解散、国に犯罪被害者の救済と補償を求めて活動する組織は、私達だけになりました。

昨年1月、私たちの「会」は、一般社団法人に再組織して、体制を強化、国に要請する事項も整えてきました。「自助」「自己責任」と、情勢は大変厳しいものがありますが、人権を求める闘いも高揚している今年、牛のように緩やかでも力強く進みたいと思います。

(一般社団法人・犯罪被害補償を求める会)

平和随想

人生を変えた福島原発事故 あれから10年、原告は私の誇り

松本理花

今年の3月11日で、あの東電の福島原発事故から10年。この日から人生が大きく変わってしまった人も多いのではないのでしょうか。

原発事故に遭い、被曝から逃れて家族と自身を守るため、生まれ故郷の生活を断って、関西で生きることを決めた人たち。「まさか、自分がこんな経験をすることは思ってなかった」——私も明日は我が身、他人事とは思えない気持ちで関わり、東電と国に賠償を求めた「原発賠償ひょうご訴訟」の支援を、ぽかぽか事務局として2013年9月の提訴から続けています。原発事故から10年目の3月11日に、神戸地裁101号法廷で35回目の口頭弁論が予定されています。

当時、幼い子供を連れて避難した原告。いろんな苦労がありながらも、たくましく頑張っている原告の皆さんは、私の誇りです。なんか親戚のおばちゃんぽい気持ちなのです。

原発事故、そして今のコロナ禍、私自身も考え方や情報の見方が変わってきました。何が真実なのか？ 国や自治体の施策の意図は何なのか？ 今こそ、一人ひとりを大切にする社会をつくらなくちゃ、と思っています。

(九条の会. ひがしなだ世話人、「原発賠償ひょうご訴訟」事務局)

中国「残留日本人孤児」への理解を youtube で初の情報発信!! 日本語、中国語の2カ国語で

浅野慎一



九条の会、ひがしなだ主催の「戦後 70 年特別企画『中国残留“日本人孤児”は今』(2015 年 8 月 2 日開催)で、研究者の立場から講演を担当させていただきました浅野慎一です。

この度、私が所属する「中国『残留日本人孤児』を支援する兵庫の会」では、youtube (https://www.youtube.com/watch?v=CSTk_dGzJtU) に

て、残留孤児関連の情報を発信しました。

コロナ禍で、思うような活動ができなくても、帰国した「中国残留日本人孤児」問題への理解を深めてもらいたい、との思いで取り組んでみました。

でも、考えてみれば、コロナ禍とは関係なく、今後、インターネットを用いた諸活動・情報発信は、ますます重要になると思われます。今回の発信は、未来の活動に向けた第一歩とも考えています。

皆さん、お手すきの際、ぜひ覗いてみてください。

また、帰国した中国残留“日本人孤児”問題に関心をお持ちのご友人・お知り合いに情報を拡散・周知していただけると、大いに助かります。

前半が日本語版で私が担当し、後半の中国語版は中国で生まれ育った私の妻、佟岩が担当しました。

(神戸大学大学院教授、灘区在住)

ハナ絵モンの思い

「被災者責任」と「不断の努力」

関本(市川)英恵

10 月、大学のサークルの先輩が急死されました。神戸大学生時代に阪神・淡路大震災を経験し、「神戸空港を考える神大の会」の運動や、最近では借り上げ復興住宅問題にも取り組んでおられました。

先輩が学生時代に書かれた「被災者責任というもの」という文章では、「(前略) 誰しものこれからに活かしやすい形で、私たちの被災経験を社会全体の経験として再構築してゆく責任があるのではないかと。私たち被災者以外に、この『責任』を負うことのできる主体はどこにもいない。」とあります。借り上げ復興住宅問題について言えば、裁判でたたかっておられる被災者の支援はもちろん重要ですが、これから被災するかもしれない「全国・全世界」のみんなの課題として構築していかなければならないと思います。

私は被災者ではありませんが、高齢になった被災者の経験を共に発信していくことはできるのではないかと感じますし、それは「国民の不断の努力(憲法第十二条)」の一つでもあると思います。

(「憲法の歌」作詞者、「住むこと 生きること 追い出すこと」著者)





横林賢二

年末年始、71歳の私が楽しむテレビ番組は限られている。民放では時代劇がなくなり、サンテレビとBSの時代劇を見る。その代表が水戸黄門。

「この紋どころが、目に入らぬか!」の名セリフ。悪を懲らしめ、正義を貫く時代劇。そんなテレビで育った団塊世代。

安倍政権になって、「お主も悪よのう!」の人が、自民党政権内に「付度」という名で増え、補填を後援会が・・・そんな事がまかり通る。

「城主のまつりごとは、苦しむ民のためにある」という水戸黄門のセリフを、今の自公政権に突きつけたい。

遠山の金さんの「これにて1件落着」で済ますことはできない。

(熟年者ユニオン 71歳)

※昔の時代劇は今、サンテレビとBSテレビ時代劇専門チャンネルでしか見られません。

住吉山手から

コロナ・コロナ

公庄 れい

このところ、コロナ騒ぎの世の中の雰囲気、12歳で敗戦を経験した私は、戦争中のあの「非国民」という言葉を思い出してしまった。子供の着物の柄も戦時色となった、あの頃の空気。2007年の「くらしのきもの資料館」(西宮市)の資料を再読してみたいと思う。

戦争柄を着た時代

～～若者たちは、どこへ消えたのか～～

①モスリン展

私が第1回のモスリン展を開いたのは、1985年の秋だった。長じゅばんや帯や着物、それに端裂れをあわせて300点くらいの、ごくささやかな展覧会だったが、参会者は引きも切らず、古い日本家屋の床が抜けるのではないかと心配するくらいであった。

熱心に端裂れを見ていた70歳くらいの男性が、「わ～懐かしな～、こんなん残ってんのやな～」と、急に声を出して唄いだした。

廟行鎮の敵の陣・・・

御所人形のように愛くるしい三人の兵が、鉄兜をかぶり、銃を片手に挙手の礼をしている。背後には鉄条網、大砲とともに、「爆弾三英雄士の歌」と、その譜面が色紙仕立てでプリントされ、与謝野鉄幹作詞の歌は三番まで、きっちり描かれている。「君死にたもうことなかれ」唄った、あの与謝野晶子の夫である。

男性は昭和初期、モスリンのセールスマンをしておられた三木年男氏で、以来、わたしは氏から、いろいろと教えて戴いた。

(孫たちの将来を案じるおばあちゃんの会)

カンパの郵便振替口座

| | |
|------|-------------|
| 口座記号 | 00900-6 |
| 番号 | 217129 |
| 名義 | 九条の会. ひがしなだ |

編集後記
1月号(第132号)の最終面、「雉(きじ)」の下から2段目の冒頭で、「草道で向かい合って闘う2羽の雄」とあるのは「車道・・・」の誤りにつき、お詫びして訂正します。
(A・T)